

平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月13日

上場会社名 株式会社 光彩工藝
 コード番号 7878 URL <http://www.kosaikogei.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部 部長 (氏名) 吉田 貴

TEL 0551-28-4181

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	1,728	—	△9	—	△9	—	3	—
24年1月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年1月期第3四半期 3百万円 (—%) 24年1月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	1.05	—
24年1月期第3四半期	—	—

(注)平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期の数値は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第3四半期	1,987	1,416	71.3	377.86
24年1月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 25年1月期第3四半期 1,416百万円 24年1月期 ー百万円

(注)平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年1月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,340	—	4	—	1	—	12	—	3.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1.通期業績予想につきましては、平成25年1月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

2.業績予想の修正につきましては、本日発表の「特別利益の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期3Q	3,960,000 株	24年1月期	3,960,000 株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	212,124 株	24年1月期	212,124 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期3Q	3,747,876 株	24年1月期3Q	3,928,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期より、当社100%出資子会社KOSAI VIETNAM CO., LTD.を連結の範囲に含めた四半期連結財務諸表を作成しております。作成初年度に当たり、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較、分析は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災復興関連事業等からの国内需要が比較的堅調なことから緩やかに回復しつつあるものの、円高の長期化などによる生産活動の減少や欧州の財政不安の長期化、中国リスクの顕在化など国内外で先行き不透明な状況が続きました。

宝飾業界におきましても、景気の先行き不透明感や消費税増税への懸念などによる個人消費の低迷により、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は高付加価値商品の販売強化、新商品開発に継続して取り組んだものの、ジュエリー受注事業における受注数量の低迷やベトナム子会社に対する投資費用が先行したため、経常利益の確保には至りませんでした。公共工事に係る補償金約15百万円を特別利益として計上したため、四半期純利益については黒字となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高が1,728百万円、経常損失は9百万円、四半期純利益は3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における総資産は1,987百万円となりました。その主な内訳は、たな卸資産が580百万円等であります。

負債は571百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金78百万円等であります。

なお、純資産は1,416百万円となり、自己資本比率は71.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における業績及び今後の動向を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途開示いたします、「特別利益の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判定に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期累計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年10月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	577,609
受取手形及び売掛金	349,535
たな卸資産	580,475
その他	10,771
貸倒引当金	△5,515
流動資産合計	1,512,876
固定資産	
有形固定資産	354,567
無形固定資産	3,791
投資その他の資産	104,350
固定資産合計	462,709
繰延資産	11,714
資産合計	1,987,300
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	86,095
短期借入金	230,000
未払法人税等	3,453
賞与引当金	5,913
その他	107,509
流動負債合計	432,970
固定負債	
長期借入金	78,248
退職給付引当金	30,120
役員退職慰労引当金	23,925
その他	5,864
固定負債合計	138,157
負債合計	571,128

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年10月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	602,150
資本剰余金	509,290
利益剰余金	333,454
自己株式	△29,942
株主資本合計	1,414,951
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,364
為替換算調整勘定	△144
その他の包括利益累計額合計	1,220
純資産合計	1,416,171
負債純資産合計	1,987,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	1,728,361
売上原価	1,467,972
売上総利益	260,388
販売費及び一般管理費	269,689
営業損失(△)	△9,300
営業外収益	
受取配当金	460
受取地代家賃	1,375
その他	1,571
営業外収益合計	3,407
営業外費用	
支払利息	2,587
その他	686
営業外費用合計	3,273
経常損失(△)	△9,166
特別利益	
収用補償金	15,815
特別利益合計	15,815
特別損失	
固定資産除却損	233
特別損失合計	233
税金等調整前四半期純利益	6,416
法人税等	2,488
少数株主損益調整前四半期純利益	3,927
四半期純利益	3,927

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成24年2月1日
至 平成24年10月31日)

少数株主損益調整前四半期純利益	3,927
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△135
為替換算調整勘定	△144
その他の包括利益合計	△279
四半期包括利益	3,648
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,648
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。